

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3 年 3 月 25 日

公表:令和 3 年 3 月 31 日

事業所名 リバティキッズ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2 職員の配置数は適切である	8		保育、心理、言語、作業の発達知識と経験を有する専門家がチームでサービスを提供している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7		・換気や手指消毒に加え、子どもと家族が快適に過ごせるように配慮しています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		・利用児の発達目標達成に向けて、try&errorを繰り返している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			・今後は母子分離も行っていきますので、動画やカメラで別室から見られるようにする。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		・HPに掲載していた。 ・大きな行事の様子は公開したいと思っている。	・HPへの掲載はあまり認知されていなかったため、広報していく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3			・今後検討する。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・適宜職員研修を行っている。	・交流する機会ができたと思う。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8		・保護者同席のため、都度アセスメントを行っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		・田中ビネー、新版K式発達検査、WISC4、Vineland2	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		・子どもたちが意欲を持って取り組めるように工夫している ・子どもの発達に合わせているので、固定化してしまうプログラムもある	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8		・子どもの状況に合わせて、個別集団、さらに集団の人数も工夫して作成している。 ・その子の現状に合わせて人数での集団活動を行っている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	・保護者よりメールで連絡してもらっている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		・該当者なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	・近くの公園に遊びに行った際には、地域の子どもなどと触れ合うこともある ・夏祭りなど	・今後検討する
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	・保護者同席をお願いしていますので、毎回情報共有、アセスメントを行っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	・新一年生の保護者への支援(ペアレント・トレーニング)は丁寧に行っている。	・保護者から「ペアレント・トレーニングをもっと行ってほしい」という要望が多々あるため、開催頻度を上げていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	・契約時に必ず行っている。	・契約時のみの説明だと勘違いが発生する場面があった。都度説明が必要。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	・集団指導の際、保護者に別室に集まっていたらいい。その場での情報交換や意見交換は活発に行われている。 ・今年度はコロナの関係で父母会の開催ができなかった。	・安全を配慮して少しずつ開催できればいいと思う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	・保護者からの相談には、迅速に、丁寧に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	・定期的ではないが、都度子どもたちの様子をLINEを使って配信している。また、活動の様子を写真にて掲示している。	
	35	個人情報に十分注意している	8		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	・細やかな連絡や子どもの様子を丁寧に伝えることに配慮している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	・集団療育中での避難訓練は行っている。	・個別療育中での避難訓練は行えていなかったため、行っていく。 ・保護者には周知できていなかったため、訓練の周知を行っていく。 ・アンケート項目が裏面だったため、無回答が多かった。周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	・集団療育中での避難訓練は行っている。	・個別療育中での避難訓練は行えていなかったため、行っていく。 ・保護者には周知できていなかったため、訓練の周知を行っていく。 ・アンケート項目が裏面だったため、無回答が多かった。周知していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		・アンケート項目が裏面だったため、無回答が多かった。周知していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	・関わる職員全員がきちんと理解して対応に当たるように話し合いをしている	・アンケート項目が裏面だったため、無回答が多かった。周知していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		・該当者なし。	・利用児の中にはいないが、アレルギーがある場合は対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		・アンケート項目が裏面だったため、無回答が多かった。周知していく。